

一般会計の歳入の根幹をなす町税は、全体としては対前年度比3億5644万円、9・6%の増となっております。

個人町民税につきましては、給与所得の上昇により対前年度比2209万円の増、法人町民税につきましては、非製造業、中小企業の景況感の停滞や、大手法人の繰越欠損金などにより、対前年度比1106万円の減を見込んでいます。

固定資産税につきましては、全体で対前年度比3億3959万円の増を見込んでおります。

内訳につきましては、農地から宅地などへの地目変更により、土地737万円の増、大規模工場の新築などにより、家屋1億3123万円の増、当該新築に伴う設備投資により、償却資産1億9980万円の増となっております。

地方譲与税につきましては、国の地方財政計画や過去の実績などを勘案し、対前年度比1200万円の増としております。

国庫支出金につきましては、年金生活者に係る臨時福祉給付金制度が平成二十八年度限りの制度であったことや小牧基地内の用排水路改修工事の完了に伴い、対前年度比6810万円の減となっております。

県支出金につきましては、農業用施設の実施設計や避難施設用看板の更新に伴い、対前年度比1087万円の増となっております。

繰入金につきましては、対前年度比1億2569万円の減となっております。町税の増収が見込まれることや起債の有効活用により、財政調整基金からの繰り入れは行っておりません。

町債につきましては、豊山保育園の外壁等改修事業と社会教育センター空調設備改修事業の実施に伴い、対前年度比1億4700万円の増となっております。

特別会計につきましては、平成二十八年度と同様、五つの特別会計を設置しています。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス事業の各特別会計においては、それぞれの給付、サービスに見合った所要の額を計上しております。公共下水道事業特別会計については、公共下水道事業計画に基づき、下水道の整備を推進してまいります。平成二十九年度予算の主要事業につきましては、第四次総合計画の「施策の体系」に掲げる七つの「まちづくりの目標」に基づき、順を追ってご説明いたします。

## 目標 1 快適で活気あふれる コンパクトなまち

はじめに、「目標1 快適で活気あふれるコンパクトなまち」について申し上げます。

あいち航空ミュージアムのオープンに向け、引き続き、中道地区内における用地取得、県道春日井稲沢線へ接続する町道9号線の道路整備を進めてまいります。

また、町民の皆様が徒歩や自転車でも町内を安全に移動することができるよう大山川右岸の歩道整備に向け、引き続き用地取得を行い、併せて一部、道路整備についても進めてまいります。

そのほか、神戸地区の町道619号線や幸田地区の町道805号線につきましては、利用者の利便性、安全性を高めるための側溝改良工事を実施してまいります。

下水道の整備につきましては、若宮・諏訪地区、神戸・四ツ塚地区、幸田地区の三地区において工事を行ってまいります。対象となる広さは7・4ヘクタールです。これにより、町全体の約50%が供用開始可能な地域となります。

神明公園につきましては、平成十七年に供用を開始してから十年が経過しました。これまで、自然とのふれあい、レクリエーションなどの活動の拠点として、地域の憩いの場として親しまれてきました。引き続き、町民の皆様や来訪者に安全で安心な遊びと憩いの場としてご利用いただけるよう適正に維持管理を行っていくとともに、監視カメラの更新を行ってまいります。

MRJ最終組立工場周辺の小道地区につきましては、「先端産業振興拠点」に位置付けられています。一層の産業振興が図れるようにするため、市街化区域編入の準備を進めてまいります。

